

1886(明治19年)創業、地域とともに139年。

HCP Human Communication Partners
半田中央印刷株式会社

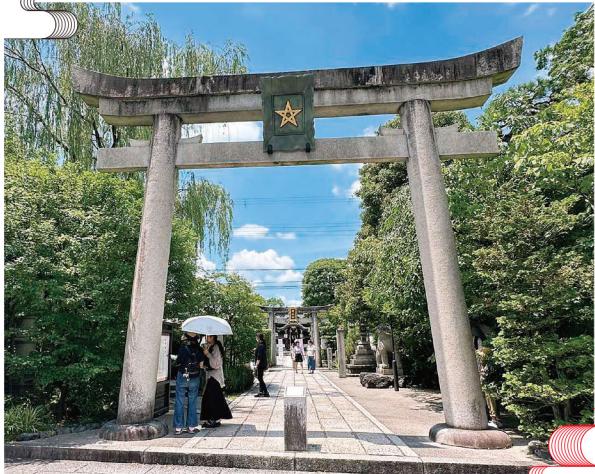
〒475-0032 愛知県半田市瀬干町1番地の21

TEL 0569-29-2525㈹ FAX 0569-29-4500

PTC Group

※制作：株式会社創通

※撮影：株式会社創通

わが店、わが店、この道一筋、出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 豊豊店/知多郡武豊町字下金37番地 電<0569>72-0356 常磐店/常磐市市場町4丁目67番地 電<0569>35-2861

ひいま・藤間勘萃

春
秋

NO.017

行こか戻ろか 妖しの橋を
一条戻橋 晴明神社

一条戻橋。一条通の堀川に架かる、約六メートルの小さな橋。洛中と洛外を分けると同時に、現世と異界を分ける橋として、様々な伝説が残っている。

ここから北へ約百メートル進むと、晴明神社が姿現す。安倍晴公を祀る神社で、一の鳥居には社紋の五芒星が燐然と輝く。

境内には先代の戻橋の親柱が移され、旧一条戻橋として再現されている。左脇には晴明公の式神が鎮座し、行き交う人々に不敵な笑みを投げかける。

境内には先代の戻橋の親柱が移され、旧一条戻橋として再現されている。左脇には晴明公の式神が鎮座し、行き交う人々に不敵な笑みを投げかける。

「お母ちゃん、この橋、魔がいるんやろ？渡るのやめ足す。」

「何言うてんのや。女はみんな心の奥に魔を��い慣らしてるんえ。怖いもんなんであらへんのや。」

「お母ちゃん、この橋、魔がいるんやろ？渡るのやめ足す。」

「動画の音曲を楽しみながら、読者の皆さまも楽しの世界を行きつ戻りつ。」

ひいま（松根裕美）

京都府育ち。

学生時代は日本語文法や朗読や作文に多く携わる。高校時代、東千家主催学校茶道体験会コンテストで優秀賞を受賞。第18回全国小作家ワセミコンに招待。京都私鉄ESS連盟主催英語聴解大会優勝。荒井聴と井上聴。大学時代、世界遺産「下鶴神社」で十二三番正舞を学び、名月狂歌祭で舞を披露。現在は京大での舞台活動に加え、一般社団法人きみのカラーニングセンター監修認定講師として、ほかの色ことばに関わる各種レッスンやオンライン講座、「淨土真宗」正徳講堂西四町下(妙善山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛けている。名古屋音楽大学音楽学部、名古屋を中心に各地で講師として、もちろんカワーグチやセルフ和装レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。

Instagram→@hiromimatake

ひいま・藤間勘萃 幻燈館

QRコードで紹介した動画をYouTubeでご覧いただけます。

QRコードを読み取っていただくか、「藤間行こか」で検索して下さい。

ひいま・藤間勘萃の
ホームページはこちら

